

# 第6回 能代市総合計画市民協働会議

日 時 令和6年10月31日（木）  
午後6時  
場 所 能代市役所 大会議室

## 概 要

### 1 開 会

### 2 委員長あいさつ

山内委員長よりあいさつがありました。

### 3 協 議

#### (1) 分科会協議

まちづくり提案書（案）について協議を行いました。（主体が明確でないものや具体的な取り組みの記載がないもの等について検討しました。特定の主体への提案のみの場合、他の主体でできることがないか検討しました。）  
協議後、全体のまちづくり提案書（案）を印刷し、配布しました。

#### (2) 全体会協議

##### ①各分科会の協議結果報告

各分科会ごとに提案内容の発表を行いました。

発表者 第1分科会：湊 哲一委員 第2分科会：佐々木廣仁委員  
第3分科会：神田友成委員 第4分科会：藤川 彦一委員

##### ②まちづくり提案書及びまちづくり評価書の最終調整について

分科会を超えた提案内容の質疑の確認をし、提案書の承認をしました。（質疑等はありませんでした。）

まちづくり評価書については、事務局から説明を行い、分科会を超えた内容の質疑の確認をし、評価書の承認をしました。（質疑等はありませんでした。）

### 4 市長へのまちづくり評価書及び提案書の提出方法等について

事務局より、市長への提出方法等について説明がありました。委員長、副委員長での提出を予定していますが、日程が決まり次第委員へ同席確認の文書を送付することとしました。

### 5 正副委員長あいさつ

お礼のあいさつがありました。

（山内委員長）

本日、第2次能代市総合計画第4期実施計画策定に関するまちづくり提案書を完成することができた。また、第3期実施計画のまちづくり評価書もご承認いただくことができた。会議の運営にご尽力いただいた佐々木副委員長、各分科会の正副分科会長の皆様には、改めて御礼申し上げる。今回の市民協働会議では、会議ごとに委員の皆様には色々な役割を分担していただき、御難儀をお掛けした。こ

の協働会議を通して、多くのご意見、斬新なアイデアを頂戴することができた。よりよい能代を構築していくために、今後、様々な形で活かされていくことになると思う。コロナ禍もあったため、実績評価が難しかったものもあったと思う。提案の作成は、人口問題など重要な課題も勘案する必要があって、大変な作業であったが、皆様が熱意を持って、真摯に議論し、完成した提案書は、実施計画策定に大きく貢献するものと確信している。第4期の実施計画策定と実効性の高い運用をお願いしたい。

(佐々木副委員長)

これまで長きにわたり、委員の皆様が意見を出し、考えをまとめていただき、市民協働会議の評価書と提案書を作成することができた。皆様のご努力に感謝を申し上げます。この市民協働会議は、市民の声を市政に届け、また反映させることができる集合体であると思っており、その分、責任があり、重責であると感じている。皆様が真摯に議論してまとめられたということは、能代市を良くするために一歩踏み出したというように感じている。

事務局からも、あいさつがありました。

(今野企画部長)

おかげ様で能代市総合計画市民協働会議による政策の点検・評価、提案書のとりまとめまで予定した協議を終えることができた。8月から3か月間の長きにわたり、会議が毎回夜遅くまでで、計6回と、御難儀をお掛けした。第2次能代市総合計画後期基本計画の計画期間は、令和9年度までということで、あと3年ある。今後3年間の具体的な事業計画を作る第4期実施計画策定作業も進めている。また、来年度の当初予算編成の時期でもある。今回提案をまとめていただいた内容は、真摯に受け止め、できるところから取り組んでいければと思っている。協働会議を通して、市民の皆様と直接ひざを交えてお話を聞ける大変貴重な機会をいただいた。能代市総合計画後期基本計画のまちづくりの基本理念として、幸福共創があり、本市の目指す将来像は、わのまち能代である。これを実現するための市民協働会議であると思っている。皆様のご尽力に対し、改めて感謝申し上げます。

## 6 その他

事務局より、交通費の支払いについて事務連絡がありました。

## 7 閉 会